



地域手作りのイベントに赤井城跡周辺にぎわう

赤井地区で第2回くまもと里モンプロジェクト事業

赤井台地の史跡を守る会(城本真澄^{しろもと ますみ}会長)が主催する県の里モンプロジェクト事業が2月28日、赤井城跡周辺で行われ、約100人の参加でにぎわいました。

午前中に赤井城跡周辺の史跡を巡った後、参加者たちは地域の人たちが振る舞う豚汁やひめだご汁、おにぎりなどに舌鼓。腹ごしらえが済むと、町文化財保護委員長の河原三代志^{かわはら みよし}さんによる赤井城の歴史にまつわる物話に興味深く耳を傾けていました。

友人を誘って初めて参加した村上明子^{むらかみあきこ}さん(広崎4町内)は、「ロマンがあって魅力的な催し。これから開かれていく赤井城の歴史にかかわれることがうれしく、今後は楽しみです」と、満足そうな笑顔で話しました。

なお、同会は、他の模範になると県から認められ、「くまもと里モン賞」を受賞。城本会長らが3月25日、表彰状を手に町長室を訪れ、活動成果を報告しました。

▶地域住民による郷土料理のおもてなし
▼終始和やかな雰囲気^{きんじやうわやか}な雰囲気に満たされた会場



①多くの人出でにぎわった千成堂協賛の「ひな祝いの福まき」のようす ②大道芸ショーは子どもたちに大人気 ③終日長い行列ができた名物「市だご」の販売テント前

春の訪れを告げる催しに大勢の人出

好天に恵まれた木山初市、大にぎわい

3月5日、6日の2日間、町商工会主催の木山初市が木山横町通りで開かれました。

追い付かないほどの人気ぶりで、商工会女性部の販売テント前には、終日長い行列ができていました。

両日とも気温は20度を超え、汗ばむ天気となった今年の初市。春の訪れを告げる恒例のイベントを満喫しようと、会場一帯は延べ約2万人の人出でにぎわいました。

中央に設けられた特設ステージでは、大道芸ショーや太鼓、キッズダンスなどが行われ、歓声や笑い声に包まれていました。

歩行者天国となった通りには、さまざまな露店がずらりと立ち並び、買い物客で混雑。特に、名物「市だご」は生産が

今回は、益城ふるさと市場「はぴまる」と史跡めぐりも同時開催。盛り上がるイベントをさらに後押ししました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

